

## 学校用 水泳帽子の話

1960年代中ごろ、当時の文部省は「<sup>かいいい</sup>皆泳運動」というスローガンを掲げ、プール教育を開始しました。それに伴い全国の学校に次々とプールが設置されていきました。夏に売れるものに苦戦していたフットマークは海水帽子をつくっていたこともあり「学校用水泳帽子」を考えつきました。1980年代頃までには現在の形が出来上がっていた水泳帽子。さてみなさんのかぶっていたのはどれですか？



最初は男女別でした

### 1969年 最初の学童用水泳帽子【スクール型 男子/女子】

昔ながらの綿などの天然素材にかわってはいじめて化学繊維ナイロンが登場。乾きが早く、軽く、何よりも色が鮮やかであるので、学年ごとに色を変える識別性を重視する水泳帽子には最適な生地であった。



当時のパッケージ



水を入れて遊んでみたり...

### 1972年 ゴムの水泳帽子【スポーツ型】

伸縮性を重視して初めて天然ゴムを素材に水泳帽子を開発。ゴムは生き物といわれており着色することに苦労した。天然ゴムが取れる台湾で生産、年間100枚万以上の大ヒット商品となった。



現在は20色もあります

### 1977年 メッシュの水泳帽子【ダッシュ】

従来の布製水泳帽子に伸縮性を持たせ、なおかつプール水に含まれる塩素に強いポリウレタンがこの水泳帽子の特長。かぶり心地は誰にでも受け入れられ、水泳帽子のロングセラーとして今日も高いシェアを占めている。



競泳選手もかぶっています

### 1981年 シリコンキャップ

シリコンは工業用素材であったが、東レはシリコンを家庭で使う何かに商品化したかった。シリコンを日常生活に使う製品としてはじめて完成したのが水泳帽子であった。



マークは級や動物など色々

### 1987年 名前・泳力マークが付けられる【ダッシュマジック】

ヒット商品ダッシュ型に名前が書けるようにしたい、「泳力」に応じたマークを考えてほしいというプールの現場の声にお答えしたのがこの水泳帽子。泳力ごとにクラス分けできる級マークは子どもたちの励みになっている。

月刊フットマークは東京都墨田区にある水泳・介護・健康インナーメーカー「フットマーク」が月1回発行するニュースレターです。すべてのお客様へ向けて楽しく役に立つ情報を掲載した紙面づくりを心がけています。

## 海水帽子の存在

学校用水泳帽子が生まれる以前に海水浴でかぶる海水帽子は存在していました。女子用で20人に1人くらいがかぶっており、花柄や水玉などはっきりとした華やかな柄が特長。フットマークも1950年後半頃製造していました。

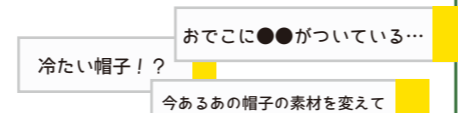


## 帽子はなんのために？

開発当初の必殺営業トークは水泳帽子をかぶることで色分けができ、先生が指導しやすい、おぼれていても分かる。という視認性を強調したものでした。もちろん衛生上のメリットもあります。でも普及するには約5年くらいかかりました。

## 未来の水泳帽子

毎月開催される「アイデアBOX」の先日のお題はメッシュキャップの新しいアイデア。もはや完成型に近い水泳帽子ですが、奇想天外なアイデアが集まりました。



新商品として登場する日も近いかも?!

## フットマーク カタログギャラリー

左から1972年につくられた初期の水泳帽子カタログ。中は1982年。しっかりとカラー別に使いましよう。と明記しています。また、二段目付近で見覚えのある顔はありませんか？ヒントは青い帽子。右は1986年のカタログ。



フットマーク代表取締役社長：  
三瓶 芳 (さんべ かおる)  
1958年1月27日(昭和33年) 島根県生まれ  
1980年 駒沢大学卒業 2012年 社長就任  
趣味はテニス。好きなお昼ご飯はメロンパン。毎日暑いので午後の紅茶ミルクティーを3本飲む日もあります。先日「午後の紅茶チョコミントティー」というものを発見しました。今度挑戦してみたいと思います。

## K A O R U の部屋 10

### 72年目もよろしくお願いたします。

おかげさまで71期を無事に終了することができましたこと、すべての方々に御礼申し上げます。8月21日よりいよいよ新しい期が始まります。新しい期の始まりはいつも新鮮で今期はどんな期にできるのか、ワクワクしながら迎えます。私たちの取り巻く環境の変化はますます大きく、それに伴うチャンスもピンチもこれまでとは違い予測できないことが多々あるかと思えます。そんな中でも変わらず大切にしたいことは”お客さま視点”にどこまで近づけることができるかということです。



来月には、全社員が1日を使い各自の目標を発表する場もあります。これは1992年からずっと続いていることです。実に一人ひとりの個性がよく出ており、この時間が楽しみでもあります。個々の挑戦が新しいフットマーク、おもしろいフットマークの挑戦につながっていきます。そしてその挑戦の成果をお客さまに還元していきたいと考えています。72期どんな新しいフットマークに出会えるかどうぞご期待ください。

## NEWS 金藤選手のイベントを開催しました

先日金沢のリバティ水夢倶楽部さまにて「金藤理絵選手水泳イベント」が開催されました。



午前と午後コース別に分かれ2回開催、合わせて約80名の小学生のお子さんが参加してくださいました。一部では模範泳法や金藤選手もチームの一員として参加したリレー対決などでも大盛り上がり。急ぎょ金藤選手のサイン入りシリコンキャップを懸けた、じゃんけん大会も開催されました。二部では子どもたち一人ずつを対象にしたワンポイントレッスンが行われました。



子どもたちとの距離も近く、金藤選手からスキンシップと取りながら声をかける場面も。実は金沢に行くのは初めてという金藤選手。「皆さんにこんなに歓迎されてうれしい」と口にしていました。



最後に参加者全員に金藤選手の直筆サイン入りキャップがプレゼントし、記念撮影を行いました♪

水とうきうきは、赤ちゃんからお年寄りまで水を楽しむ人たちの姿を通じて、水の楽しさを共有するコーナーで、専用 WEB サイトにも掲載中。  
 主役は水を楽しむ人たち。年齢も、住むところも、これまでの生きざまも違う人たちが、「水」を語ります。日ごと違う自分だけの空間で、泳げるようになるために、健康のために、挑戦するために。一人で、誰かと一緒に。みんなと。幼い頃の思い出、これからの夢。世界中の皆さんから寄せられるたったひとつの物語を伝えていきます。

## 水泳を通じて頑張る楽しさを伝えたい

門垣 祐平 (Yuhei Mongaki)

職業：水泳インストラクター  
 水泳の個人指導  
 スイスイクラブ 代表  
 子供のパーソナルレッスンを中心に指導。  
<http://www.swiswiclub.com/>



私は3歳の頃から水泳を習い始め、8歳で選手コースに所属し小学校、中学校、高校のはじめまで競泳選手として日々練習を重ねてきました。プールの練習が大好きで物心がつく頃には泳げるようになっていて、コーチに誘われるがままに選手コースに上がり、気がついたら毎日のように練習をする生活が始まっていました。

全体的にレベルが高いチームだったので負けず嫌いの精神で必死に練習に食らいつき、JO出場入賞、海外遠征合宿など貴重な経験をさせていただきました。



### ＊ 悔しい思い出の方が多かった選手時代

ただ私は才能に恵まれた選手ではなかったです。競泳選手だった頃の自分を自分で褒められる点といえば、  
 ・練習をほとんど休まなかったこと  
 ・コーチのアドバイスをしっかり聞いて、忘れなかったこと  
 これは自分でも胸を張れる部分です。レースで結果を出せて嬉しかった思い出もたくさんありましたが、どちらかというと練習が辛かった思い出や試合での悔しい思い出のほうがたくさんあります。笑  
 その後高校2年生くらいの頃、反抗期も重なり「こんだけ努力しても一番になれないならもう水泳を続けて

てもしょうがない。」と自暴自棄になって競泳選手を辞めました。思うような結果を出せなかった自分に対して自己嫌悪にも陥り、水泳も大嫌いになりました。

### ＊ 起業して、指導者の道へ

しばらくは水泳と無縁の生活を送っていましたがどことなく毎日に味気無さを感じるようになりました。何かに対して情熱を注ぎ努力すればするほど、目標を達成する喜びも負ける悔しさもより一層大きなものになりました。



競泳選手を辞め自由な時間を手にし、暇を持て余していても心から幸せだとは思えませんでした。何も目標がないまま生きるより、いつも何かしら目標を持ち続けて喜んだり悲しんだりできる人生のほうがずっと楽しいと思い、私は大学卒業後サラリーマンを辞めて起業の道を選びました。

### ＊ 水泳を通じて学んだ事

今思えば競泳選手時代の私は、誰かに勝つとか大会で優勝するとか他人と比較した目標ばかりを設定していました。競技としては当たり前のことなのですが、誰かに勝つために頑張るといふ以前にまずは自分の成長を楽しむことのほうがもっと大切なことではないかと今では思うのです。自分自身と向き合い練習を積み重ねていくうえで水の流れや感触の変化を感じ、心・技・体それぞれにおいて前の自分より少しでも成長すること、そしてそれを楽しむことが一番だと思います。高校生だった頃の私は目標に振り回されて、水泳を楽しむことを忘れてしまっていました。水泳指導をさせていただくようになって、水泳の楽しさを思い出すことができました。改めて水泳を教えてくれたコーチ、昔のチームメイト、そして水泳を習わせてくれた両親に対する感謝の気持ちなど、現在も様々な事を私自身がお客様や子供たちを通じて学ばせていただいています。

文章を一部割愛しています。全文掲載はこちらから  
<http://www.footmark.co.jp/waterheroes/episode/id1294/>

FOOTMARKな人々  
 31人目

大内 博  
 Hiroshi Okuchi

部門 ▶ ヘルスケア部  
 入社 ▶ 1987年  
 出身地 ▶ 東京都足立区  
 趣味 ▶ 横乗り系スポーツ スケボー、サーフィン  
 私の健康法 ▶ 禁煙歴 25年 禁酒歴も2ヶ月… (キツバリ止めた) 適度な運動と、少なめ控えめの食事

実は、サーフィン…  
 超ブランク明けで復活したばかりです…  
 今回は熱い… かなり気合入ってます… 笑



レスポンスを大事にして、  
 対面対話を心がけています。  
 日々健康体で居られる様に、  
 自身のコンディションを整えています。

伊豆 特に下田が好きで、メローで綺麗な浜、海が良い。透明な温泉が好きでもあるので、下田温泉は最高です。  
 九十九里 ホームグラントであり、サーフィンを知った地…。いつの時も、ここを無くて語れない地である。  
 双海 高知県の中村市にあります。ここは本当シークレットって感じで超おすすめです。

### 私の好きな海ベスト3

私のおすすめ商品

No.101121  
 ダッシュ (水泳帽子)  
 形と色、他社との微妙な違いが好き。これは絶対に自社品だと言いつつ、見分ける事も楽しい



ホッとひといき。コーヒーと音楽の素敵時間。

## CHILL OUT COFFEE&...RECORDS

カフェ ☕ 禁煙 🚫 約2分

京葉道路沿いに新しくできたコーヒースタンド。センスの良い小物、レコードから流れる洋楽に包まれた店内は何とも心地の良い空間です。爽やかな店長さんがハンドドリップでコーヒーを淹れてくれました。深いコクのある味わいです。距離が近いので気軽にお話も楽しめます。最近このあたりに急激に増えているカフェ。”コーヒー通り”になるの日も近いかも？



ドリップコーヒー 380円



東京都墨田区線 2-17-8  
<https://tabelog.com/tokyo/A1312/A131201/13207746/>

### 編集後記

8月21日よりフットマークは72年目に突入しました。新入社員も正式配属され、新しい1年が始まりました。8月という暑い時期に本決算を迎え、お客様には珍しいねとよく言われます。ただ今年は雨も続き夏らしくない日が続いています。先日京都に行きましたが、あの盆地で猛烈に暑い京都でさえもどこか秋のようなお天気。ただならぬ異常気象の気配を感じています。ビールも美味しいこの季節。早く夏が復活することを切に祈っています。

### フットマーク株式会社

広報担当：吉河祐子  
 Tel: 03-3846-3382  
 webmaster@footmark.co.jp

※ぜひ感想をお寄せください